

# ボラ♥ほっと

発行：北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター（TEL：0568-25-8500） 編集：北名古屋市ボランティア連絡協議会

**春**です！ さあ、新しい船出です。

**あなたもボランティアを始めてみませんか！**

きっと、あなたにぴったりの  
グループがあるはず…

ボランティア研修会で  
名古屋市港防災センター  
と名古屋港に行ってきました。  
港には帆船「日本丸」が停泊していました。  
R1.11.30（土）

※ボラ・ほっとは、皆さまから寄せられた共同募金の配分金の一部で作成しています。

わたしたちは



こんなことをしています!

No.32

ボランティアセンター登録の団体はたくさんあります。  
あなたの時間を活用してみませんか。一度見に来てください。  
今回は『北名古屋市手話サークル連絡会』の活動を紹介します。

## 北名古屋市手話サークル連絡会

2/1 (土)

北名古屋市手話サークル連絡会（れもん、あいの会、あゆみの会）では、毎年1回交流会をしています。3つのサークルが持ち回りで、ボーリング大会や食事会などの企画をしています。

今年はもえの丘ふれあい健康ルームで、パラリンピックの種目でもある「ボッチャ」を知ろうというコンセプトでボッチャの体験をすることにしました。

ルール説明と審判は、NPO法人スポNAGO ネクストさんをお願いしました。ルールを知ったり、体験してみることで東京パラリンピックもより楽しめると思います。ボッチャというスポーツを通して障害者スポーツが広がるといいなと思います。

【れもん 江崎万智子】

### ボッチャとは？

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。

カーリングのように、相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。



スポNAGOネクストさんと一緒にハイポーズ!

### ◎聞こえに障害を持った方が望んでいることは？

それは、人とスムーズにコミュニケーションがとれること。“手話”や“聞こえない人に対する理解”を多くの人に伝えること。それは、聞こえない方に対するバリアフリーにつながっていきます。手話を学ぶ人達がつながって、もっともっと多くの方に、それを伝えていけたら・・・

それが私たち『北名古屋市手話サークル連絡会』の活動目標でもあります。

今年も“おもちゃリユース広場”を開催する予定です。



## 眠っているおもちゃをご提供ください!

ご提供していただく日時・場所は各おもちゃ病院開院時  
お願いします。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

代表 坂野 勝次



### 令和元年 台風19号災害被災地へ向かった 災害ボランティア !!



11月26日(火)、27日(水) 長野県災害復旧の報告

今回、災害ボランティアで愛知県社協から連絡があり、台風19号被災地長野県地区に参加しました。以前には、東北、九州、三重にも参加してきました。持ち物のチェックリスト(ヘルメット、ゴーグル、手袋等)に従い装備品をリュックに詰め準備しました。

1日目は、名古屋駅からボランティアセンター支援バスで、参加者28名と出発して長野まで休憩を取りながら5時間30分かかりました。

2日目は、長野市北部災害ボランティアセンター(柳原総合市民センター)に、他県からも500~600名が、各自でお昼ご飯を用意して集合しました。午前9時からスタッフの説明でA地区(住宅、神社、物置)担当になり、私は愛知県から一緒に来た4名と物置から土砂を撤去する作業を引き受けました。現場に着いたときは一面土砂に埋まり15~20cmはありました。物置の土砂を袋に詰める作業の繰り返しでした。神社前に集めた土のうは、時間が来ると別のチームが回収し午後3時30分に作業は終わりましたが、周りを見渡すとまだまだ土砂は残っていました。人手が足りていませんでした。ボランティアセンターに戻り、炊き出しのカレーが美味しかったことを思い出します。

また機会がありましたら是非参加したいと思っています。

【北なごや防災ボランティア 山崎 澄雄】



災害ボランティアセンター前にて



神社前に山積みされた土のう

### 令和元年度に表彰された ボランティア団体

ボランティア活動功労者表彰  
愛知県庁にて

◇北なごや防災ボランティア

### 報 告

ボランティア連絡協議会は、令和元年台風19号災害義援金として63,758円を長野県に送らせていただきました。被災された方々の早い復興をお祈りします。  
【ボランティア一同】

『ボラ・ほっと』に関するお問い合わせは、  
〒481-0033  
北名古屋市西之保藤塚93番地  
北名古屋市社会福祉協議会  
ボラ・ほっと係  
TEL 0568-25-8500  
E-mail: fukushi@kitanagoya-shakyo.jp



2019年度

## ボランティア研修会

北名古屋市ボランティア連絡協議会

11/30 (土)

名古屋市港防災センターで災害疑似体験をしてきました。

地震体験室では、過去に実際に起こった震度7クラスの地震を起震装置で体験しながら、スタッフの人から適切な初期行動について学びました。疑似体験と違って揺れだしたら何も考えられなくなり、まずはダンゴムシポーズをとり、治まるまで待ち、揺れが収まった後に火の元の点検、逃げ道確保と教えていただきました。

煙避難体験室では、火災発生状況の中で煙の特性を理解し、避難姿勢や避難方法を学びました。中へ入ると部屋の半分位まで煙が広がり、前がよく見えない状況でドアがいくつもあり、出口がどこなのか分からないので不安を感じました。

3Dシアターでは3Dメガネを掛け、映像や音響・照明等の演出による伊勢湾台風（昭和34年9月）が3D映像で映し出され、名古屋港の貯木場から流れ出る木材の様子が、目前に迫ってきて自然災害の恐ろしさを体験しました。今回の体験で、家の防災点検をしなくてはと思いました。

午後からは名古屋港ポートビル内の名古屋海洋博物館と南極観測船ふじを見学してきました。青い空、穏やかな海をゆっくり眺めて、仲間とおしゃべりをしてとってもいい時間を過ごせました。

【広報 大野 あけみ】

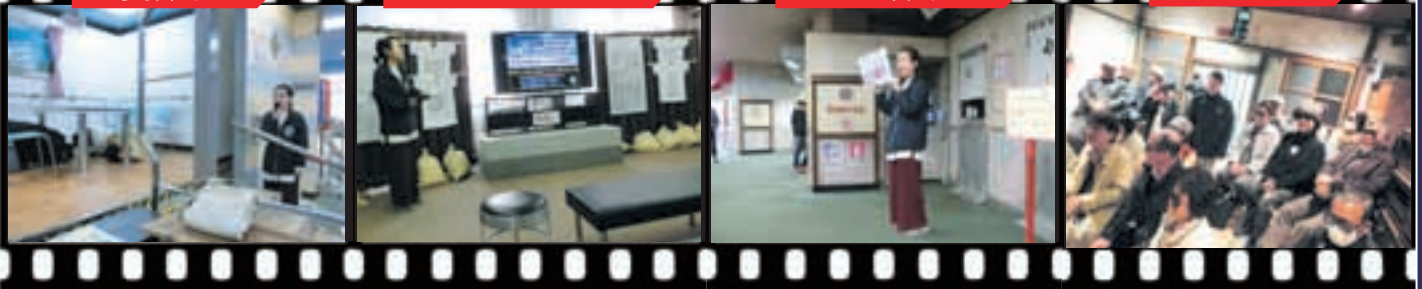
南極観測船ふじと  
タロ・シロの像

地震体験室

伊勢湾台風を知る

煙避難体験室

3Dシアター



## 追悼

昨年12月27日、北名古屋市ボランティア連絡協議会会長 細野 陽子氏の訃報が届きました。前日に「来年もよろしく」と年末のあいさつを交わした方もあり、あまりにも突然のことで誰もが青天の霹靂でした。

細野陽子氏は2019年度から連絡協議会会長を、またボランティア団体「かたらんと」では小・中学校の福祉実践教室でガイドヘルプの指導、ボランティア団体「虹」では西地区の「ふれあい昼食会」で高齢者の方にバースデイカードをお届けするなど幅広く活躍されていました。

いつも、笑顔で明るくボランティアを实践されていた姿を私たちは心に留め、ともに力を合わせてボランティア活動に励みたいと思います。

「陽子さん、天国から見守っていてくださいね。」 【V連絡協議会 会長代行 吉田 彩子】

★細野陽子さんのご冥福をお祈りします。 ボランティア一同